

いなべ市の財政を家計簿に例えると…

平成17年度のいなべ市の財政状況を分かりやすくするため、ここでは普通会計（普通会計とは一般会計と住宅新築資金貸付金特別会計と農業公園特別会計の合計です。）の歳入決算額（201億9,423万円）を月収30万円の家計に例え、予算項目も簡単な言葉に置き換えて説明します。



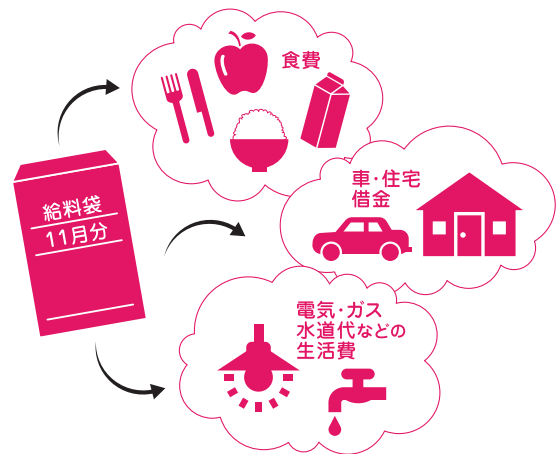
収入

家計に例えた場合の内容	月収30万円の家計に例えた時の収入額	割合%	市の歳入科目	H17普通会計決算額
会社からの給料	12万6千円	42.0	市税	84億8千万円
前月からの繰越し	2万7千円	9.0	繰越し金(前年度からの繰越し)	18億2千万円
パート収入など	1万3千円	4.4	使用料、手数料、分担金・負担金、諸収入、財産収入、寄付金、繰入金	9億円
両親からの援助	8万9千円	29.7	地方交付税、国県支出金、各種交付金	60億円
借金	4万5千円	14.9	地方債(市の借金)	30億円
収入合計	30万円	100.0		202億円

支出

家計に例えた場合の内容	月収30万円の家計に例えた時の支出額	割合%	市の性質別歳出科目	H17普通会計決算額
食費	5万1千円	18.7	人件費(職員の人件費)	34億4千万円
医療費、学費など	1万7千円	6.1	扶助費(生活保護、児童手当など)	11億2千万円
借金の返済	2万6千円	9.4	公債費(借金の返済)	17億4千万円
家の増改築、車の購入など	5万5千円	20.1	普通建設事業費(道路、学校建設など)	37億円
生活費など	5万8千円	21.1	物件費、維持補修費(消耗品・備品の購入など)	38億9千万円
子どもへの仕送り、小遣いなど	5万3千円	19.6	補助費等、繰入金、貸付金(民間団体への補助、特別会計繰出しなど)	36億2千万円
預金	1万4千円	5.0	積立金(基金への積立)	9億1千万円
支出合計	27万4千円	100.0		184億2千万円

収入と支出の差額は翌月(翌年)へ繰り越しとなります。



① 収入について見てみると、一般の家庭では、**給料**が主な収入だよ。市では、市税がこれにあたるんだ。そのほか、市税だけではやっていけないので、国や県から援助を受けたり、金融機関からお金を借りたりしてやりくりしているんだよ。

景気が悪くなると市税は減ってしまうし、国や県からの援助もいつまで続かわからないから、収入に応じたお金の使い方を考えていかないといけないんだよ。



① いなべ市の収入はどうなっているの？

② どんなことにお金が使われているの？

② 一般家庭の**食費**や**医療費**、**借金の返済**にあたる、人件費や扶助費*1、公債費*2など、なかなか減らせない費用が32%あるんだよ。これらの費用が増えると自由に使えるお金が減ってしまうんだ。

ほかにも**家の増改築**や**生活費**などにあたる、道路・学校などの建設や維持管理のためにも多くのお金が使われているんだ。

本当に必要なものは何かをよく考えて節約しなくちゃいけないんだよ。

*1扶助費：生活保護費や医療助成費など個人へ給付される経費や、福祉施設運営に充てられる経費
 *2公債費：市債(借入金)の返済金および利子